

氏 名 宮 下 俊 也



所 属 ・ 職 名 音楽教育講座（音楽科教育）・助教授

研究室電話番号 0742-27-9214
（ダイヤルイン・FAX 兼用）

電子メールアドレス miyashit@nara-edu.ac.jp

最終学歴及び学位 武蔵野音楽大学大学院音楽研究科，上越教育大学大学院学校教育研究科
芸術学修士，教育学修士

所 属 学 会 等 日本音楽教育学会，日本学校音楽教育実践学会，日本教育方法学会

専 門 分 野 音楽科教育学

研究と教育について

研究の主なテーマは，音楽授業過程における評価。特に子どもの内面で起こる音楽の認識を言語化して表出する過程に関心がある。その他，音楽科カリキュラムにも興味がある。演奏は，ピアノによる声楽家との共演で，日本歌曲やこどもの歌の初演を多く行っている。

教育の方針としては，音楽に対する偏りのない価値観をもった教員の養成を目指している。また，共同研究を行いながら，若い研究者の育成にも力を尽くしたいと考えている。

主 な 研 究 業 績

- ・「小学校音楽科観点別評価における問題点 - 鑑賞領域での混乱に注目して - 」，『奈良教育大学紀要』第 53 巻第 1 号，2004
- ・「知覚・感受の結果は発話にいかに関与されるか - 『音楽的な感受』に対する評価方法としての意味内容分析 - 」，『学校音楽教育研究』Vol.8，2004.3（共著，第 1 著者）
- ・『音楽の授業における楽しさの仕組み』，音楽之友社，2003.3（責任編集）
- ・「音楽授業における楽しさの規定要因 - 楽しさ経験に対する調査と中学校での実践場面分析を通して - 」，『教育方法学研究』No.27，2002.3
- ・「美の享受に対する評価方法の提案」，『音楽教育学研究 2』，音楽之友社，2000.4

主な授業担当科目

学 部：中等教科教育法(音楽)，初等教科教育法(音楽)，幼児の音楽表現，音楽
大学院：音楽科教育方法論，音楽科授業研究，音楽科教育実践演習

学 会 活 動 日本学校音楽教育実践学会：常任理事，編集委員

社 会 的 活 動

文部省 中学校学習指導要領(音楽)の改善に関する調査研究委員（平成 10 年 1 月～11 年 3 月）
国立教育政策研究所 評価規準，評価方法等の研究開発のための協力者（平成 15 年 5 月～16 年 3 月）
国立教育政策研究所 研究指定校(教科別指定)に係る企画委員会協力者（平成 17 年 4 月～18 年 3 月）

講 演 の テ ー マ

- 「実践から考える評価の計画・評価の方法・評価の総括」
- 「『構造的側面を知覚し，美しさを感じ取る』ことの育成をどう実践したらよいか」
- 「新学習指導要領を活かすカリキュラムづくり - これからの音楽科を考える! 授業時数削減をふまえて! - 」
- 「日本の音楽教育事情」